

お客様の印刷機械が故障・事故なく安定稼働できるように
印刷機械のワンポイントメンテナンス

第7回 地震発生時におけるメンテナンスのポイント

地震や水害等の広範囲な災害が発生した場合には、通信が集中するため、弊社(KOMORI)側からの電話連絡が非常に困難となります。お客様側からもご連絡をお願い申し上げます。

I. 地震発生時の注意点

1. 地震が発生した時は、ただちに急停止、または停止ボタンを押して、印刷機械を止めてください。
2. 身の安全を考えて、安全な場所に避難してください。

II. 「KOMORI緊急災害対策本部」への連絡方法の優先順序

- 1番・・・緑・グレーの公衆電話が比較的使用できるケースが高いと言われています。
- 2番・・・一般の常設電話
- 3番・・・携帯電話（携帯電話は一番掛かり難いと言われています。被災地域を離れた場所、または時間をズラして掛けてください。）

広域災害が発生した場合には、交通網の被災や交通規制等により、サービスマンの到着が遅れる場合があります。サービスマンの到着までは下記の手順に従って復旧対策を行い、サービスマンの到着後は指示に従ってください。**電源はサービスマンの確認と立会いの上で投入してください。**

III. 地震後印刷開始時の注意点

1. 印刷機械の横ズレ、水平ライナーが外れていないか確認してください。
(右図参照 例：SPICA426P)

- ◎ **横ズレ確認マーク**をライナー(4角)に、事前に右写真のようにつけておくことを推奨します。(テープでもペイントでも可)
ズレたかどうかの識別が容易にできます。

注

ライナーよりズレていたり、落ちていたりする場合は、下記KOMORIサービスへご連絡いただき、サービスマンの訪問をお待ちください。

2. 印刷機械上に落下物、粉じん等がないか確認および清掃をしてください。

注

機械外観やカバー等に凹み・損傷がみられる場合は、下記KOMORIサービスへご連絡いただき、サービスマンの訪問をお待ちください。

3. 電気ケーブル等が落下物による損傷、断線等ないか確認してください。

注

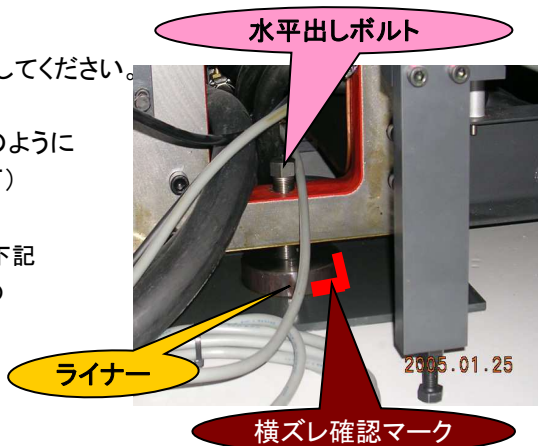
ケーブルに損傷、断線が確認された場合は、下記KOMORIサービスへご連絡いただき、サービスマンの訪問をお待ちください。

4. 印刷機械を手廻しハンドルで廻し(版胴・ゴム胴で2回転以上)、機械内に障害物がないか確認してください。

注

メインモーターブレーキ解除ハンドル装着機械は、解除してください。
ハンドル解除をしないとブレーキが作動しており、手廻しはできません。

5. 上記1～4の項目をクリアした上で寸動で数回スムーズに廻るか確認をし、低速運転でメインモーターの電流値(アンペア)に異常がないか確認の後、高速運転に入れてください。また、再び電流値も確認してください。正常に回転されていることが確認できて初めて、印刷を開始できます。
回転中の異音・振動・異臭・発熱等に注意を払ってください。



KOMORI-Kare はこちらから→



ワンポイントメンテナンスはこちらから→



KOMORI

株式会社 小森コーポレーション
TEL.0570-01-7166